

英語

九州大学 文、教育、法、経済、理、工、芸術工、農、医、歯、薬、共創学部

<全体分析>

試験時間

120分

解答形式

〔2〕問1, 問4, 問5, 〔3〕問4, 問5が客観式。それ以外はすべて記述式。

分量・難易（前年比較）

分量（減少・やや減少・変化なし・やや増加・増加）

難易（易化・やや易化・変化なし・やや難化・難化）

出題の特徴や昨年との変更点

〔1〕～〔3〕が長文総合問題, 〔4〕・〔5〕が自由英作文, という構成。〔5〕で2つのグラフから解答させる問題が出題された。

英文読解力と英語表現力を記述式中心で問うという本格的な出題傾向に変化はない。

その他トピックス

〔1〕問5で設問文から英文を特定し和訳させる問題が出題された。英作文の配点は3年連続で200点中80点を占める。

<大問分析>

番号	区分	出題分野・テーマ	コメント（設問内容・答案作成上のポイントなど）	難易度
〔1〕	読解総合 (42点)	デジタル化と文化消失のリスク	問3は文構造を正確に捉えるのに苦労する。 419 words	標準
〔2〕	読解総合 (36点)	はしかの流行に見られる特徴	問3は文構造を正確に捉えるのがポイント。 469 words	標準
〔3〕	読解総合 (42点)	水面上昇に伴う消滅の危機にある村	問1は制限字数内でまとめるのにやや苦労する。 611 words	標準
〔4〕	英作文 (50点)	仮想現実の社会への活用	社会を改善するのに仮想現実をどのように活用できるか, 1つの事例を考えて解答する。	標準
〔5〕	英作文 (30点)	日本人と日本に住む外国人	語数ではなく記述する文の数が指定され, 「データの違いの分析」「その背景にある要因」を考察し記述する。	やや難

注：区分は「英文解釈」「読解総合」「英作文」「文法・語法」「聞き取り」「その他」

難易度は5段階「易・やや易・標準・やや難・難」で、当該大学の全統模試入試ランキングを基準として判断しています。

<学習対策>

- ・本番の試験では短時間で大量の問題を解かなければならない。そのためには日頃から時間を意識して学習することが大切。秋以降は制限時間を設定して問題演習に取り組み、少しでも処理速度をアップするという意識を持つこと。
- ・英語を「読む」「書く」際には語句の知識がものを言う。豊富な語彙力をつけるべく、単語や熟語の学習を怠ってはいけない。